

平成29年度 ふれあいファミリアミーティング報告書（細野区）

平成29年9月15日（金）19時00分～ ◆会場 細野児童館 参加者◆21人（男16人・女5人）

行政区出席者◆長谷川区長、市川副区長ほか

町側出席者◆小野澤町長、吉川副町長、佐藤教育長、小野澤総務部長、大貫民生部長、柏木環境経済部長、中村建設部長、伊従教育次長、梅沢消防長、小川企画政策課長、和田総務課長、総務課広報・シティセールス班（高橋・油井）

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
1	防犯灯や道路反射鏡など設置の、着手順や進捗状況をホームページ等で公開してほしい。	ホームページで公開することは、審査基準、優先順位等、課題が多く、現状では難しいです。各区長さんには、6月に行政区からの要望結果の内容を送付しているので、今後も、継続していきます。(町長)	住民課	同左
2	道路の舗装化の推進、砂利の流出防止策を検討してほしい。	行政区から要望をいただき、道路幅員4.7メートルで整備を行っています。4メートル未満の砂利道については、現場に応じて対応していきます。(建設部長)	道路課	同左
3	畑などのセットバックがない土地について、道路転用を促進する仕組みを検討してほしい。	現行法上、所有権の制限を加えることになることなど課題もあるため、仕組みを創設している市町村などがあるか含めて、今後研究していきます。(建設部長)	道路課	幅員4メートル未満の狭あい道路の解消については、行政区の要望や、費用対効果等を検討し、道路改良を進めているところであります。なお、農地等の部分的に道路後退を推進する仕組みについては、買収時の税法的な課題も含め、他市町村の先進的な取り組み状況について調査、研究してまいります。
4	伸びてしまった樹木について、基本的には地権者が伐採するものであるが、費用等も考えると、なかなか容易ではない。町が、伸びた樹木を伐採することができる制度を作ってはどうか。(平成27年度に同様の提案をしている)	緊急性・危険性がある場合には、町で対応する場合もあるが、基本的には地権者が伐採していただくことが原則です。しかしながら、ケースバイケースで現地を見た上で検討していきます。(町長)	道路課ほか	道路パトロールなどにより、道路にはみ出した樹木や倒木の恐れがあり、通行に支障や危険が生じている樹木を発見した場合は、土地所有者に剪定や伐採を依頼しておりますが、緊急性のある場合などには、地権者の承諾を得た上で町が対応している状況もあり、道路が安心して安全に通行できるよう維持管理に努めてまいります。
5	消防支援隊について。支援隊の登録者数は、うち半原地区の数は。訓練はしているのか。また、「町内居住70歳以下」「消防団員として5年以上在籍していたこと」「災害ボランティアに登録していないこと」の条件の見直しをしてほしい。	支援隊全体で39名であり、半原地区は5名。消防団OBであるため、知識はあると思われるので、日常的な訓練は特に行っていません。支援隊は、消防団の活動について支援することが業務である一方、災害ボランティアは、広域避難所等で作業しています。したがって、活動区域が違うため、災害ボランティアの方が支援隊に入るのには、遠慮していただいています。(消防長)	消防課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
6	防災無線について、細野区で実施した無線の聞こえ方アンケートの報告書を確認したか。デジタル方式に変更することだが、効果はあったのか。また、町内100%解消は困難と思うが、どこまで改善する計画か。	細野区のアンケートについては承知しています。現在、アナログ放送はデジタル放送に向けて計画を進めているところであり、基本設計では、細野区の全域をカバーしています。また、難聴地域の100%解消は困難ですが、新方式などが開発された場合、効果・検証をし、より多くの方に情報が伝わるよう努力します。(副町長)	危機管理室	同左
7	半原公民館は、「福祉避難所」に指定されているにもかかわらず、防災資材が一切ない。最低限の資材は保管すべきではないか。	福祉避難所は、災害が発生してすぐに開設するものではなく、避難が落ち着いた時点で開設を決定するものです。また、専門職の配置や必要な資材の準備をしてから開設するものですので、資材の常時保管はしていません。(副町長) 今後、検討します。(町長)	危機管理室	福祉避難所に毛布の配備を検討いたします。
8	半原公民館の体育館は、子供でも50円の利用料がかかる。子供は無料化を検討してほしい。	今後、検討します。(町長)	生涯学習課	体育館の使用にあたりましては、受益者負担の原則に基づき、使用料のご負担をお願いしておりますが、今後、無料化に向けて検討してまいります。
9	消防団員不足解消について。団員OBの組織化を展開中と聞いたが、進捗状況は？在宅機会が多い主婦層やシニア層による初期消火体制を構築してはどうか。	消防団員の確保については、消防団員確保対策検討委員会を実施して、現在話し合いをしています。また、主婦層やシニア層への初期消火の訓練などは、行政区などで企画していただければ、消防署員が指導に行きますので、声を掛けてほしいと思います。(消防長)	消防課	同左
10	「愛川・ささえあいポイント事業」については、広報不足を感じる。ホームページ等でPRをした方がよい。	ホームページで見やすくするよう検討します。(町長)	高齢介護課	ホームページのほか、11月15日号お茶の間通信で本事業の周知を図る予定です。
11	国道412号線、細野橋～両向までの照明設置を、平成26年度も提案しているが、継続的に県に要望してほしい。	引き続き県厚土木事務所へ要望します。(町長)	道路課	県では、この区間の道路照明灯について、設置基準に基づき、既に設置がされておりますが、現地確認するなどして、この基準以外で設置が必要な箇所については、引き続き県に要望します。 なお、この要望の実現が難しい場合には、防犯上や歩行者の安全性を確保する観点から防犯灯の設置について行政区と協議してまいります。
12	児童館の図書の入替えをお願いしたい。図書館の廃棄図書を分けてほしいと町に伝えてところ、「公平性から考え、細野区だけに配るのは難しい」と言われた。検討してほしい。	廃棄図書について、主に小中学校や保育園、ボランティアサークルなどに配っている。今後は、行政区からも要望をとり、行政区にも配布していきます。(教育長)	生涯学習課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
13	災害メールの登録件数は？ 昨年の3月も4,000人だった。なかなか、増えない。メール登録者が増えれば、防災無線の問題も解決する。ぜひ、PR努力をしてほしい。 (提案につき回答必要なし)	約4,000人です。(副町長)	危機管理室	PRについては、広報誌などの掲載について担当課と調整し検討します。
14	夜の国道412号線は、薄暮の時間に無灯火車両が多い。事故防止のために、交通安全のキャンペーンをやるべきではないか。(提案につき回答必要なし)	(回答なし)	住民課	秋の全国交通安全運動に伴い、ホームページやメール、ツイッターをはじめ、街頭キャンペーン、高齢者宅戸別訪問により夕暮れ時の早めのライト点灯や歩行者の反射材活用を呼びかけました。引き続き、各季の交通安全キャンペーンにより啓発を行っていきます。
15	細野百寿会では、一人ぐらしの老人などの災害弱者マップを作成している。区、老人会、民生委員、それぞれバラバラではなく、町全体で展開できる方策の検討を考えるべきではないか。	町としても、細野区の取り組みを町に広めていくよう努力します。(町長)	福祉支援課	町では「災害時要援護者避難支援制度」に基づき、災害弱者に係る個別情報を自主防災組織等へ定期的に提供するとともに、これを補完するための「支援マニュアル」を作成し、地域における支援活動の一助としていただいております。避難誘導時等に活用する「マップ」の作成については、この「マニュアル」の中でも推奨しているところではありますが、今後とも様々な機会を捉え、細野区での取り組み事例などの紹介も含め、地域への普及・啓発に努めてまいります。
16	高いヒノキが宅地の隣にあり危険なので、役場に問い合わせをしたところ、宅地の場合は所有者に要請できるが、森林の場合は難しいと言われた。そのようなことがあるのか？ また、役場のどこへ連絡すればよいか。	町から所有者に対して要請をします。役場への連絡は住民課のほか、道路の近くなれば道路課へ伝えてください。庁内の連携はきちんと図っていきます。(町長)	住民課等	住民課へご相談いただいた場合、問題の土地が官地であった場合は、国・県もしくは本町の担当部署への引き継ぎ対応をしています。また、民地の場合は、住民間の事案となることから、町では対応できないため、各種相談窓口や法務局をご案内しています。
17	横須賀水源地跡地利用の3案の説明があったが、宮ヶ瀬ダムやあいかわ公園など、近隣の観光施設と連携を図りながら一体となって取り組んでほしい。	県や国との連携を図り、一体となって取り組みを進めていきます。(町長)	企画政策課	同左
18	出前講座を利用しているが、出前講座の主管課はどこなのか。例えば、健康講座をやる場合、健康推進課と調整し、さらに生涯学習課にも足を運ぶ必要がある。窓口を一本化したらどうか。	出前講座の関係は、横の連携を強化するよう検討します。(町長)	生涯学習課	出前講座の窓口は、生涯学習課となっております。なお、申し込み時には、日程や講座内容などを調整する必要があるため、生涯学習課職員と一緒に、担当課と打ち合わせを行っていただいているところであります。